学校番号	T0301

令和８年度　地歴公民科

教科	地歴公民	科目	国際研究	単位数	２単位	年次	３～４年
使用教科書							
副教材等	公共資料集　考えを深める 50 テーマ（清水書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の世界は、国境を越えて人々の交流が活発化している。交流を深化、発展させるには、異なる地域で生きる人々の生活・文化に対して、考察を深めることが必要である。
・地理的事象の考察に当たっては地図が最重要であるため、地図を読めるようにする。
・現在の世界で起こっているさまざまな問題（地震・河川氾濫などの自然災害、民族紛争、エネルギー問題など）を生徒自身の問題として考えられるような教材をつかう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
地域の気候・宗教の違いで発生する文化を知り、その知識をもとにさまざまな紛争について考察し、課題を見つけることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
統計や地図、画像など地域に関する諸資料を通して、現代世界の地理的な諸課題についての関心と課題意識を高め、基本的な事柄や追求の方法を理解する。
【学びに向かう力、人間性等】
歴史的背景や地理的事象と地域性、日常生活との関連に対する考察を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、一や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養っている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、互いの領土を尊重しあう態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	平和主義と国際平和	・国際連合と国際協力 ・勢力均衡と集団安全保障 ・軍拡競争から軍縮へ ・平和主義と自衛隊 ・集団的自衛権	a:持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、これまでの学習の成果を活かして、幸福、正義、公正などに着目し、現代の諸課題を探求する活動の意義について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを表現している。 c:現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト 授業観察 疑問の発言 田生徒の発言に対する意見発言
後期	現代の国際経済	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・戦後の国際経済 ・国際経済の動向	a:職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	ポートフォリオ 小テスト 授業観察

			必要であることについて理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 b:経済に着目して、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働し、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:経済に関わる現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度